

総合計画体系	政策No.	4	政策名	未来を担う人と文化を育むまちづくり	施策主管課	市民協働課
	施策No.	6	施策名	多様な文化と交流する機会の充実を図る	施策主管課長名	山田 明
関連個別計画					関係課名	

## 1 施策の目的と指標

市民	① 対象(誰、何を対象としているのか)*人や自然資源等	③ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	名 称		単位
		A 人口(常住人口)			人	C	
	B 市内の外国人住民数			人	D		
多様な文化に触れることで見聞を広げる、外国人が安心して暮らす	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)	④ 成果指標(意図の達成度を表す指標)		*:総合計画の目標指標			
		A 国際交流活動・友好都市交流活動参加者数*		人	D		
		B			E		
⑤ 成果指標設定の考え方 (成果指標設定の理由)	C				F		
	国際交流や友好都市交流がどれだけ行われたかの指標として「国際交流活動・友好都市交流活動参加者数」を設定した。		⑥ 成果指標の測定企画(実際にどのように実績値を把握するか)	国際交流活動・友好都市交流活動参加者数は、「那珂市国際交流協会のイベント等への参加者数」及び「友好都市秋田県横手市との市民レベルでの交流参加者数」とし、受付簿や報告書等により把握する。(ひまわりフェスティバル等はテントへの来場者数) ※ひまわりフェスティバル:令和6年度中止			

## 2 指標等の推移

指標名	名称	単位	数値区分	前期基本計画期間			第2次総合計画 後期基本計画期間				
				2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度 (実績)	7年度 (目標)	8年度 (目標)	9年度 (目標)
対象指標	A 人口(常住人口)	人	見込み値	53,000	52,800	52,500	52,900	52,700	52,500	52,300	52,000
			実績値	53,187	52,937	53,121	52,700	52,365			
	B 市内の外国人住民数	人	見込み値	280	300	300	320	400	400	400	400
			実績値	295	296	299	369	377			
成果指標	C		見込み値								
			実績値								
	D		見込み値								
			実績値								
	A 国際交流活動・友好都市交流活動参加者数*	人	目標値	650	665	680	610	628	640	664	680
			実績値	136	233	550	740	700			
	B		目標値								
			実績値								
	C		目標値								
			実績値								
	D		目標値								
			実績値								
	E		目標値								
			実績値								
	F		目標値								
			実績値								

## 3 施策の特性・状況変化・住民意見等

## ① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による住民と行政の役割分担)

- ア) 住民(事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)  
 ・多文化とふれあう機会に積極的に参加し、異なる文化についての理解と認識を深め、自らの生活や文化を再認識する  
 ・多様な文化と交流を行うことにより、国際社会に貢献できる豊かな感覚を養う

## イ) 行政の役割(市がやるべきこと、都道府県がやるべきこと、国がやるべきこと)

- ・グローバル社会に対応できる人材の育成
- ・広く外国文化について学ぶ機会や市民と外国人が交流する機会の提供
- ・国際交流協など関係団体の支援
- ・姉妹都市等との連絡調整
- ・市民レベルでの交流の促進

## ② この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか

- ・国際交流の推進(後期基本計画ワークショップ)
- ・市の国際交流協会運営の自立化(関係者)
- ・在住外国人への支援や、交流の場が必要(関係者)

## 4 施策の成果水準とその背景

(1) 時系列比較(令和2年度との比較)	(2) 近隣他市との比較(水戸市、ひたちなか市等との比較)
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した。 <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した。	<input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば高い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてどちらかと言えば低い水準である。 <input type="checkbox"/> 近隣他市と比べてかなり低い水準である。

\*上記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)  
 新型コロナウィルスの影響により中学生交換交流をはじめとした各種活動が実施できずに数値は低下していたが、令和4度以降は活動が再開され数値は上昇傾向にある。  
 ※昨年度はひまわりフェスティバルが中止となり、令和5年度と比較すると数値は減少した。

\*上記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)  
 外国人のための相談窓口設置や日本語教室等を実施しているほか、姉妹都市であるオークリッジ市との交流事業を実施した。また、既にスポーツ交流等を実施していた台湾・台南市と友好都市協定を締結した。  
 ※参考(令和5年度現在)  
 茨城県内の外国人相談窓口の設置状況:13/44市町村  
 茨城県内の日本語教室の実施状況:41/44市町村

## 5 施策の現状と課題

## ① 施策の現状(当市の特徴、その要因として考えられること等)

- ・姉妹都市であるオークリッジ市と交流事業を実施し、国際感覚を養う機会を提供している。
- ・国際交流のつどいや多文化共生セミナー等を開催し、市民が様々な外国文化に触れる機会を提供している。
- ・市国際交流協会のホームページに英語で掲載し、外国人が安心して暮らすために必要な情報を発信している。
- ・横手市とのイベント交流やスポーツ交流を通して、異なった風土や文化に親しむ機会を支援している。
- ・友好交流協定を締結した台南市(台湾)との交流において、更なる進展を図るため協議等を実施している。

## ② 施策の課題(基本計画期間を見据えて、どのような課題を解決していくかなければならないか)

- ・国際交流を推進するためには、多文化共生社会への理解促進及び多様な交流事業を企画することが求められている。
- ・市国際交流協会の新規会員の確保や協会事業を企画運営できる人材を育成し、運営の自立化を促す。
- ・不確実な世界情勢の中でも国際交流を継続できるよう、交換留学等だけではなく、ICTを活用した新たな交流が求められている。

## 6 施策の目標設定とその根拠(水準の理由と前提条件)・方針

## ○国際交流活動・友好都市交流活動参加者数

最終目標値:現状値が前期基本計画の目標値に達していないことから前期基本計画と同様に680人に設定。

中間目標値:572人(新型コロナウィルスの影響のないR元年度の実績)+18人×4年=644人=640人

伸び率根拠:(680人(最終目標値)-572人(実績値))÷6年(経過年数)=18人/年の増を目指す。

## 7 施策の目標達成のための基本事業

基本事業	基本計画期間における取り組み方針	主な事務事業
国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本とは異なる文化や価値観を持った者との相互理解を図る。</li> <li>・国際的なコミュニケーション能力を持つ人材育成を図る。</li> <li>・広く外国文化について学ぶ機会や市民と外国人との交流する機会を充実させる。</li> <li>・多文化共生の理解促進を図る。</li> <li>・海外の姉妹都市などの様々な分野での交流により、国際親善を推進する。</li> <li>・外国人への情報提供や相談体制の充実を図る。</li> <li>・外国人が安心して生活できる環境づくりを推進する。</li> <li>・市国際交流協会の活動を支援する。</li> <li>・ICTなどを活用した交流を促進する。</li> </ul>	国際交流推進事業
友好都市交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横手市との交流により、異なった風土や文化、生活習慣に触れることができる機会を支援する。</li> <li>・友好都市交流活動支援事業補助金制度を活用し、市民による自主的な交流を支援する。</li> </ul>	友好都市交流事業